

W I L C O M M

サンプル・スプール・ファイルの作成

AS0010 (Last Update : 2002/5/7)

ウィルコム AS V7.15

© Copyright 2000
K.I.S.S. Inc.



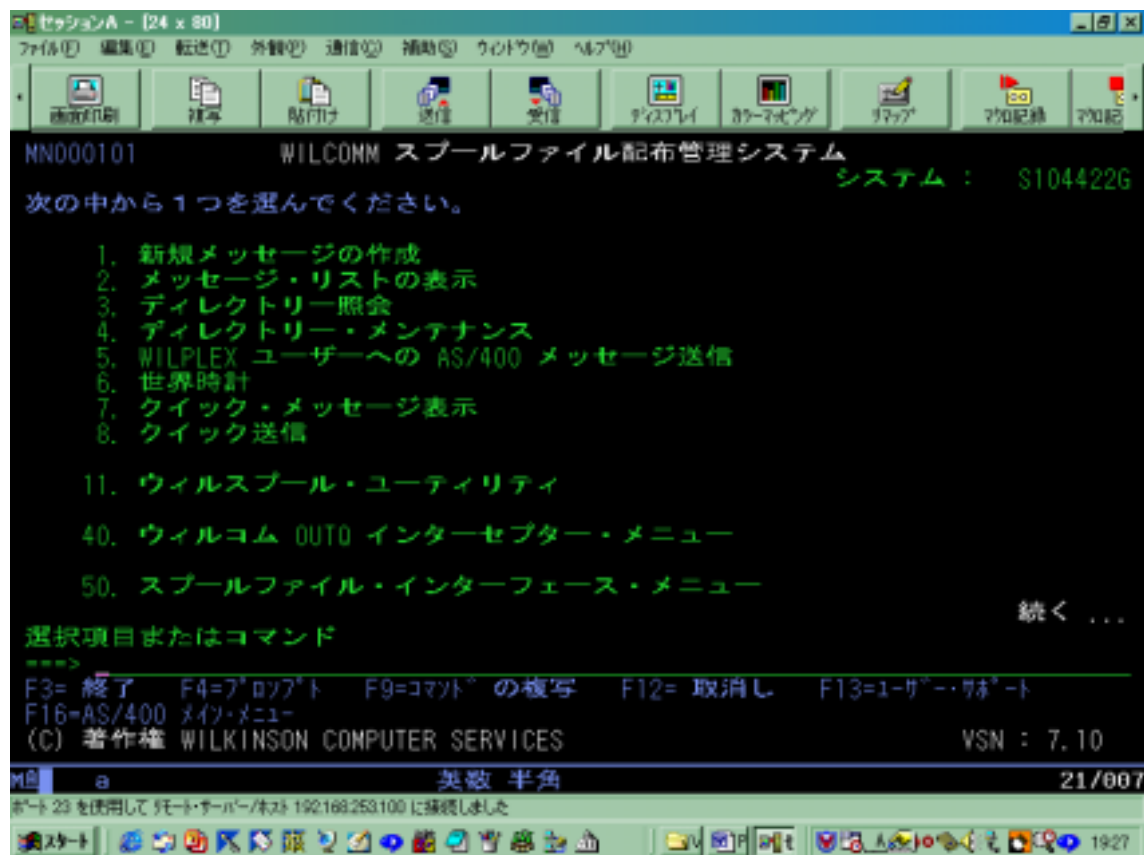
本解説書は、AS/400 上のスプールファイルをサンプルとして PC に取り込む手順について述べています。

PC に取り込むファイルは、サンプルスプールファイル或いはマップファイルと呼ばれています。サンプルスプールファイルは、フィールドマッパー或いは Distribution Wizard で「データ条件設定」をする際に必要となります。

サンプルスプールファイルは、ウィルスプール・ユーティリティーによって作成されます。サンプルスプールファイルの作成は、ウィルスプール・ユーティリティーの機能の一部を使用するものであり、本解説書はその部分に特化して解説しています。

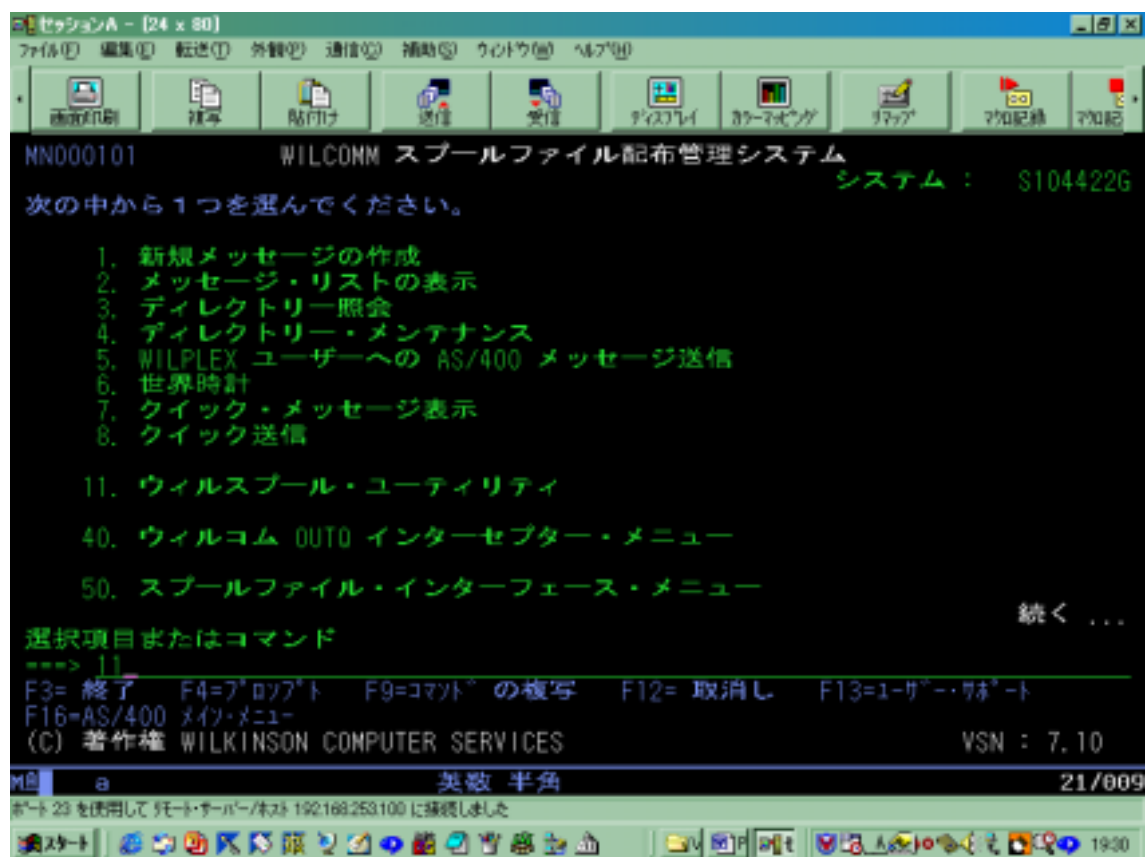
ウィルスプール・ユーティリティーの全機能を調べるためには、「**ウィルスプール操作ガイド**」を参照してください。

サンプル・スプール・ファイル（拡張子 = m a p ）の作成方法（W I L S P O O L ）



AS/400 の端末セッションで、QSECOFR でサインオンします。

GO W で「WILCOMM スプールファイル配布管理システム」を表示します。



11. 「ウィルスプール・ユーティリティ」を選択します。

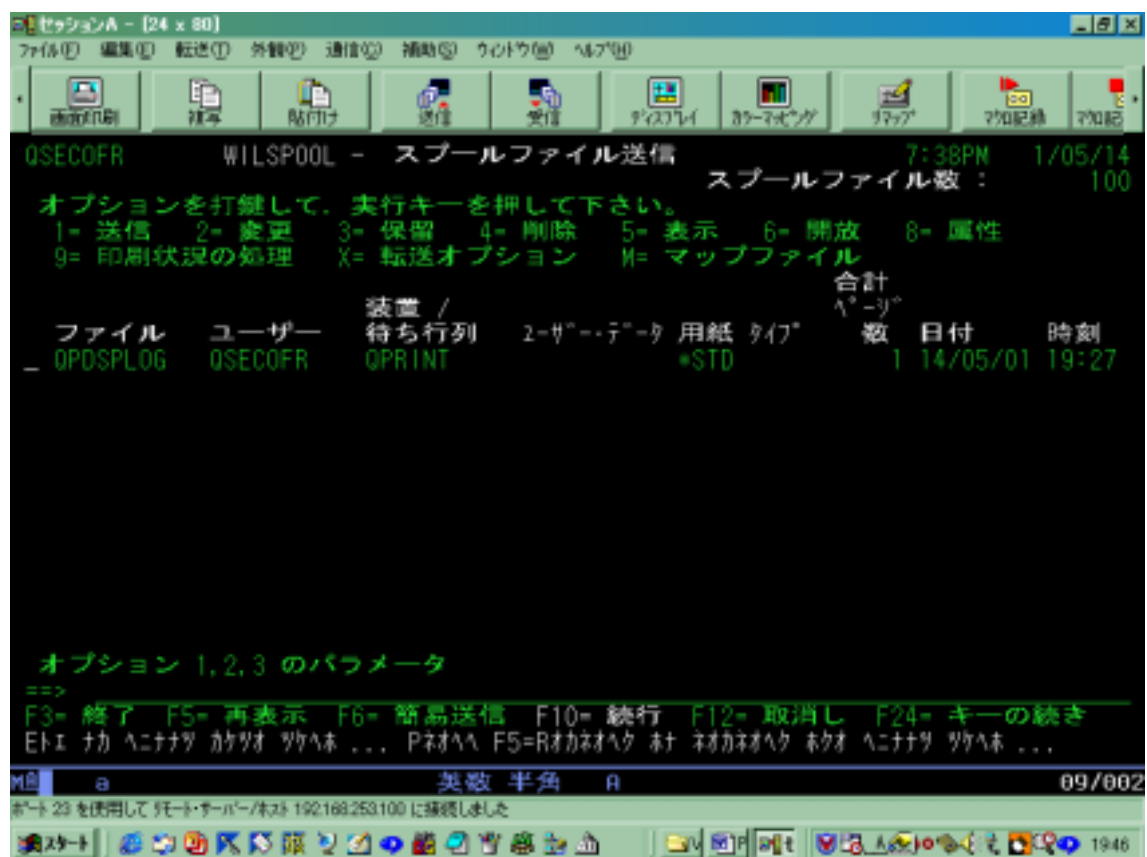


対象のスプールファイルを絞り込むために必要なパラメータを指定します。

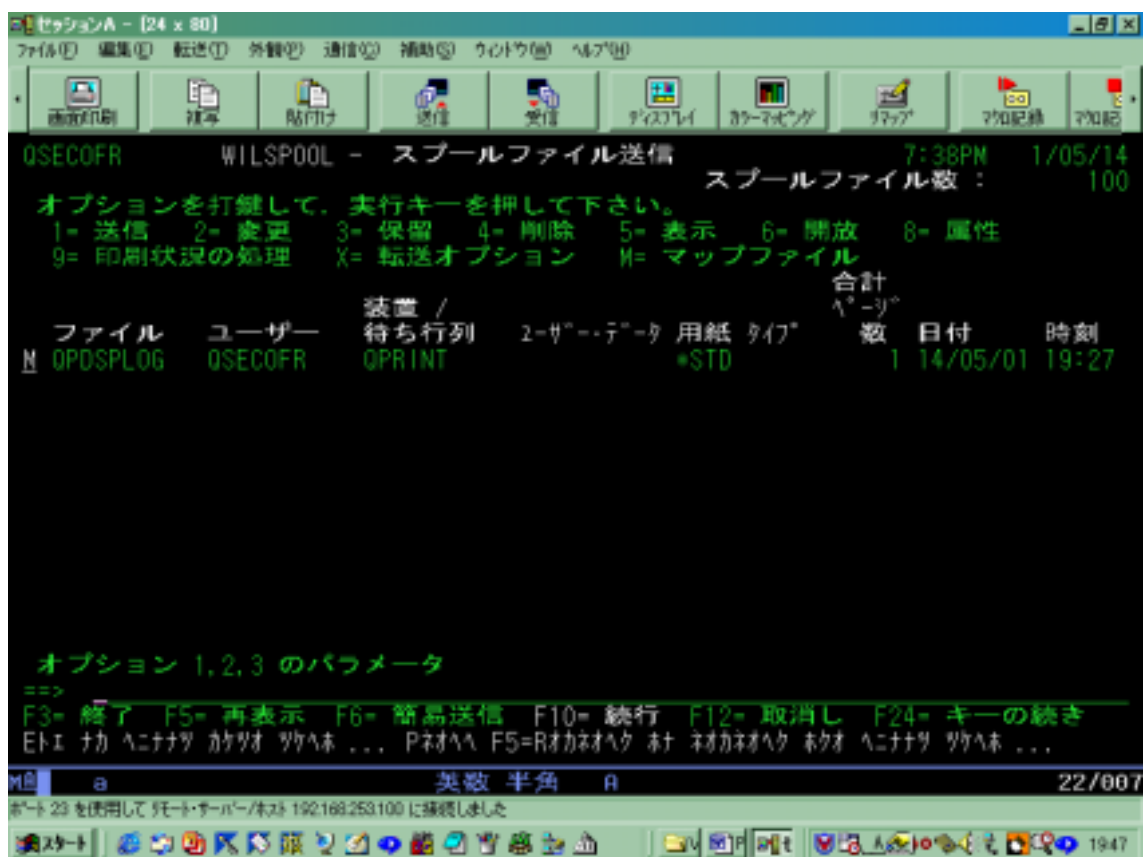
ここでは、QSECOFR で作成した OUTQ:QPRINT を表示するために、次のように指定します。



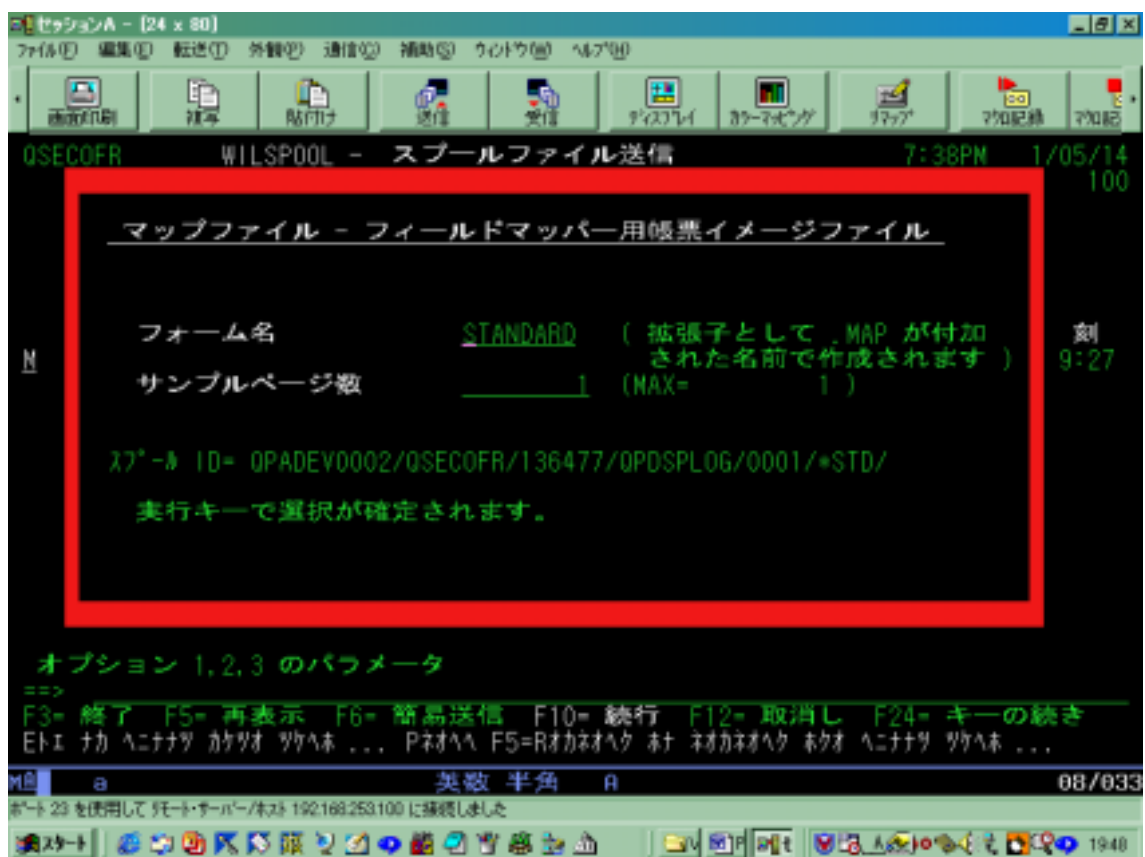
パラメータを指定して、実行キーを押します。



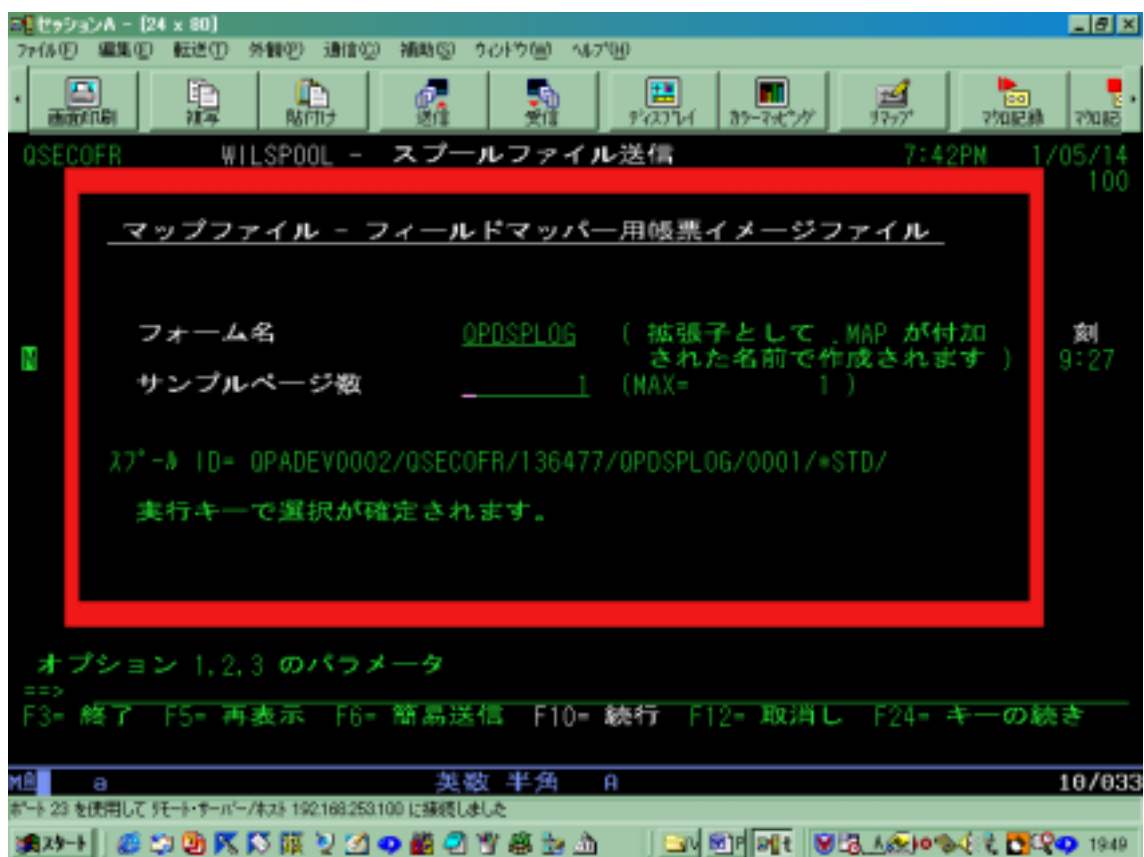
スプールファイルの一覧が表示されます。



対象のスプールファイルに、M (マップファイル)を打鍵して、実行キーを押します。



サンプル・スプール・ファイルをダウンロードするための画面が表示されます。



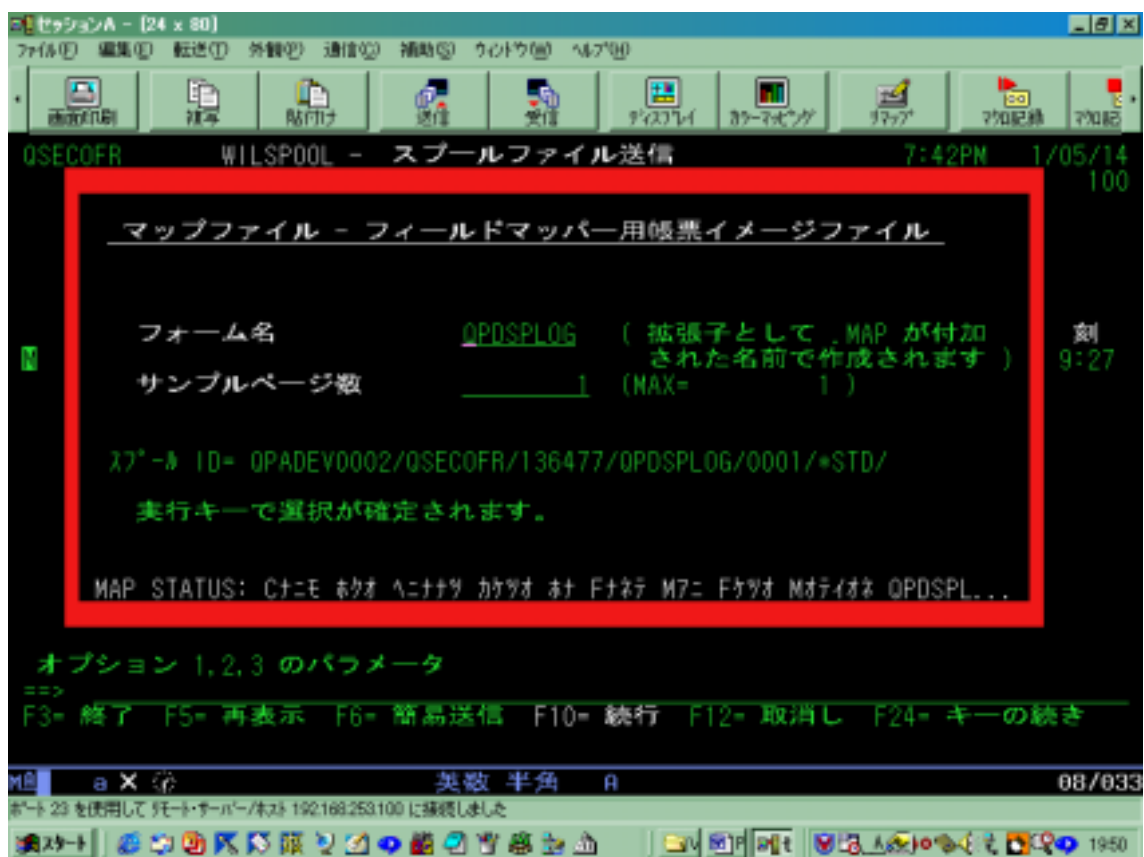
フォーム名には、PC Server にサンプル・スプール・ファイルをダウンロードする際のファイル名を指定します。

PC Server に作成した或いは作成しようと考えられているフォーム名と同じにされると管理上わかりやすいと思います。

ここではスプール・ファイル名と同じにして実行してみます。

サンプルページ数はそのままにします。

実行キーを押します。

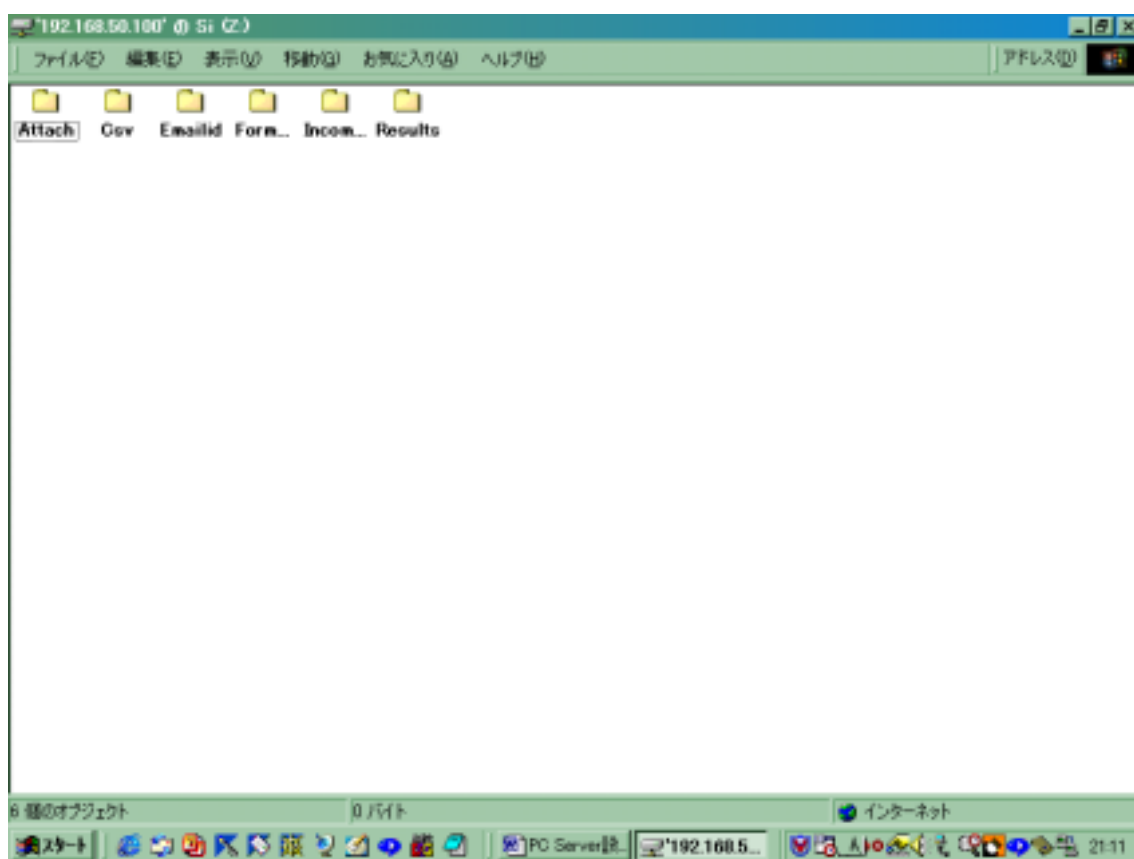


処理が終了すると、スプールの一覧表示画面に戻ります。

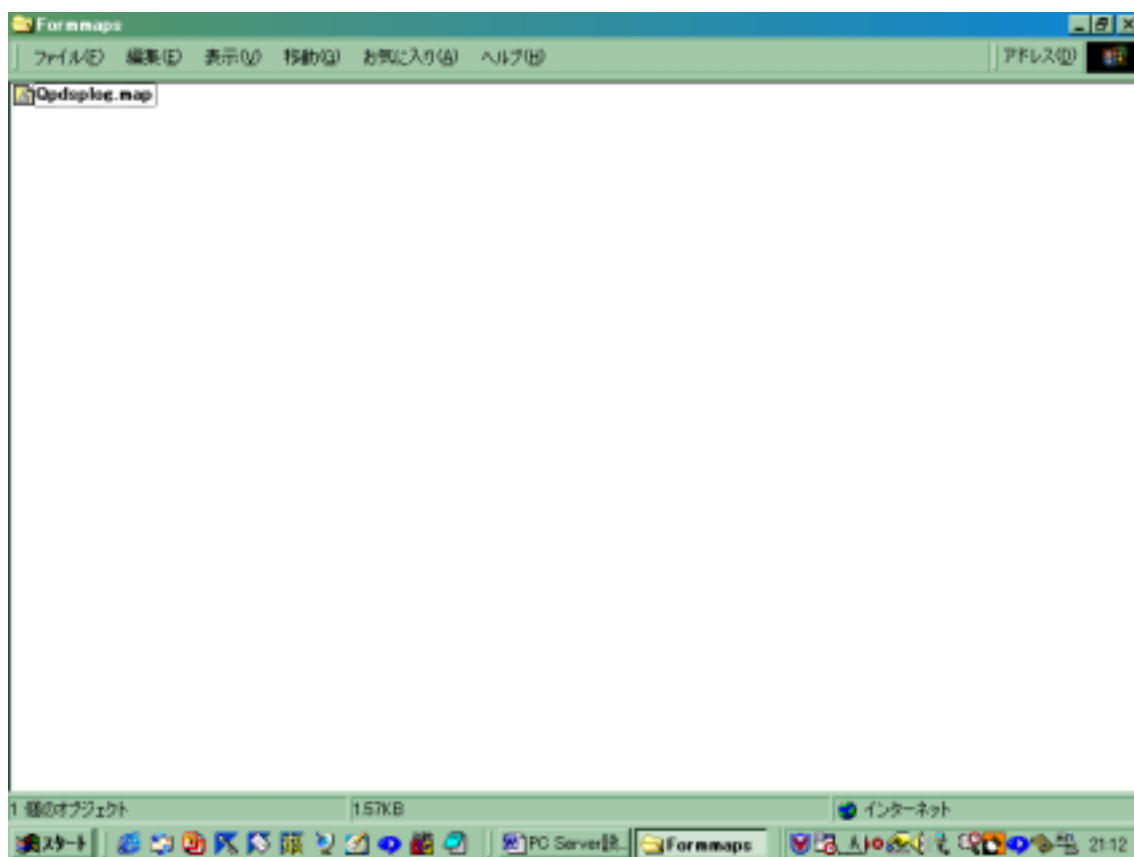
AS/400 側での処理はこれで終了です。

Qp d s p l o g . m a p というサンプル・スプール・ファイルが共用フォルダに作成されています。

次に PC Server に移動します。



PC Server で AS/400 のネットワークドライブ(/ Q D L S / S I /)を開いてください。



ネットワークドライブ内の `Formmaps` というフォルダに `Qpdsplg.map` が作成されています。

このファイルを PC Server の Wilcomm がインストールされている Sample Spool Files というフォルダに移動します。以下のパスは Wilcomm が C ドライブの Program Files フォルダにインストールされている場合のパス・サンプルです。

C:¥Program Files¥Wilkinson¥WilComm Universal¥F3Forms¥Sample Spool Files

```

5709SS1 V4R4MO 990621          活動記録ログ          A'-9' 0001
MSGD  SEV MSG TYPE
CPF580A 40 情報      装置 QPADEV0007 とのセッションが正常終了した。
QCMNAR803 QSYS      050626          01/05/03 15:29:44
CPC2606 00 完了      装置 QPADEV0007 のオフへの構成変更が完了した。
QTVDEVICE QTCP      050818          01/05/03 15:30:50
CPC2613 00 完了      装置 QPADEV0007 の記述が変更された。
QTVDEVICE QTCP      050818          01/05/03 15:30:50
CPC2605 00 完了      装置 QPADEV0007 のオンへの構成変更が完了した。
QTVDEVICE QTCP      050818          01/05/03 15:30:50
CPF1124 00 情報      QSYS のサブシステム QINTER のジョブ 050847/QSECOFFR/QPADEV0007 が 01/05/03
15:31:00 に開始された。ジョブ
QPADEV0007 QSECOFFR 050847          01/05/03 15:31:00
CPF1164 00 完了      15:46:24 に 01/05/03 でジョブ 050847/QSECOFFR/QPADEV0007 が終了した。1 秒が使用され、
終了コードは 0
QPADEV0007 QSECOFFR 050847          01/05/03 15:46:24
CPF580A 40 情報      装置 QPADEV0007 とのセッションが正常終了した。
QCMNAR803 QSYS      050626          01/05/03 15:46:29
CPF1124 00 情報      QSYS のサブシステム QINTER のジョブ 050848/QSECOFFR/QPADEV0007 が 01/05/03
17:41:03 に開始された。ジョブ
QPADEV0007 QSECOFFR 050848          01/05/03 17:41:03

```

Qpdspl log . map をメモ帳等のテキスト・エディタで開くとスプールファイルがテキスト変換されているのが確認できます。

サンプル・スプール・ファイルは作成されました。